

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下同番地（電話六三〇番）印刷所 常盤毎日印刷所

定部金貳拾五圓 廣告費五圓 印刷費五圓 郵税五圓 送料五圓 電話六三〇番

二月二日夕刊

それは田園詩人を離れてはあり得ない。田園詩人は郷土を持つ者の最も適するものであり、それ自身でもある丁度プロレタリア文藝がプロレタリア階級に必然性を持つやうに田園人には田園文學が必然的な欲求かなくてはならぬ。その中に階級的な型式が出来るとして、それが必然的ならば實に價値あることに違ひない。

寄書 郷土と田園文學 島田忠夫 (六)

都會的文藝型式のうちの階級意識を生命とする文學がある、故に田園のそれにも取入れるとすればそれはこつけない模倣ではないか、あらゆる藝術のうち文學は更に冗慢を許さぬ型式のものである、郷土を深く愛することは人間の持つ自然性である。人間詩りでない鳥獸草木にすら郷土と離れて生棲し難いものが尠くない、意識して郷土を愛する人生に土の藝術士の文學の不要な等がない吾々は郷土を顧ることによつて今や一種の行詰りに遭遇してゐる、文藝界に一種の鮮やかな光を添へるであらう五月

母モト儀本日送葬の際に遠路の處能々御會葬被下殊に御可憐なる御香奠を賜り難有御厚禮申上候實は早速御禮可申上の處取込中に付乍略儀以紙上御禮申上候

昭和四年二月二日 男馬目尙治

田中智學先生新著 一名國體讀本 日本とは 如何なる國ぞ 思想國難に對する大文字 一口五部以上は特に御相談 します

定價金八十錢 平町公園前 佐々木商店 電話二三三番

聯合福引 大賣 景品山の如く

二丁目

舊十二月廿五日より廿九日迄 新二月四日より二月八日迄 五日間

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 松村病院

平町南 電話七〇一

母モト儀本日送葬の際に遠路の處能々御會葬被下殊に御可憐なる御香奠を賜り難有御厚禮申上候實は早速御禮可申上の處取込中に付乍略儀以紙上御禮申上候

昭和四年二月二日 男馬目尙治

燃料界の親玉徳用煉炭

良品は多言を要せず 無煙無臭で火力強く 火持のよい事素敵也

一個の御注文でも直ちに配達致します 何卒御使用下さい

磐城殖産合同株式会社 煉炭部 平町南町五〇 電話四六番

變つた賣出し 景品ナシ

製造家より需用家へ 原價提供（但し賣出中）

期日二月一日より十日迄十日間

其 保險付 掛時計……三、五〇
例 同 目醒時計……一、九〇
同 硝子側時計……二、〇〇

大谷時計病院 平町（電話一九番）

スター好 ナフトール着尺
新柄 モス着尺
新柄 ホグン銘仙
其外色々取揃申候

平町（電話五七番） 龜田屋 御買上一圓毎に福引券呈上

歲暮福引大賣出し

御仕着と御歳暮の御用は是非三井へ 御祝儀物御仕度品は豊富揃へてあります 格安反物大見切物（二三割安より半額） 吉凶御引物は特に廉賣奉仕致します 御贈答には三井の商品券を……

三井呉服店 磐城平 電話三八、七五番

平一丁目商店聯合 福引景品付大賣出し

期間 二月一日舊十二月廿二日ヨリ 二月七日舊十二月廿八日マデ 七日間

御買上金壹圓毎に福引券壹枚進呈（御買上は五圓毎に壹枚）

特等	自轉車	貳拾本
壹等	上等電筒	貳拾本
貳等	番外最上白米四斗入	貳拾本
參等	大盥引セット大火鉢	五十六本
四等	手提金庫	百本
五等	大バケツ大洗面器	四百本
六等	上等茶碗	貳千本
其他	實用用品	品

其他一本も空籤なし

肉聲其まゝの高級 ビクターレコード枚、〇錢 日本物と音楽 蓄音器針は ビクター針先 一度御試聴下さい

蓄音器・貴金屬 會田時計店 平町四（電話三六三）

空家の數が……

一千二百九十八戸

總戸數の約一割を占む 平署管内の状況

石城郡内の大半は管轄區域としてゐる平警察署の統計に現れた家屋調査から最近に於ける經濟状態を觀測して見ると

棟割長屋 に居住する者が一萬三千餘棟家屋に居住する者が一萬餘と云ふ事になる全署管内に於ける家屋は

官廳一、公署一九、學校(縣立二)(公立二)(私立二)病院(縣立二)(私立九)神社一四〇、佛閣一、二、倉庫三、一四二、普通家屋二、〇一三其の他八、四九三

合計一萬五千二百六十戸であるが同署管内に於ける戸數は二萬八千五百十戸であるから

獨立家屋 住居する者より炭礦長屋の様な棟割長屋に住居する者の方が多し事になる、尚ほ同署管内の人口總數は十四萬一千四百三十二名であるから此の人員が一萬五千餘の家屋に平均するとすれば一家屋に平均十名が住んでゐる事になる

次に經濟的不況が明かに影響してゐる事を示すのは昨今に於ける空屋の増加で昨年未現在の空屋數は一千二百九十八戸で全家屋數の一割を占めてゐる

中の作漁船に

優漁旗授與

次は四ツ倉漁船

本縣では漁業獎勵方法としてその大宗である鯉漁獲高の最高漁船に對し優勝旗を

久遠宮殿下の

御葬儀に就き

明日歌舞音曲停止

明日三日久遠宮殿下御葬儀に付き各自自發的に歌舞音曲等尚ほ喧嘩欠禮に渉る事柄は是れを慎むと同時に御發引(午前九時)の際には各家庭に於て黙禱を捧げ敬弔の誠意を披瀝されたこと平町役場から各區長に示達された

板の間様

旅館の浴場で

安積郡中野村字白町農前科三犯高橋源三郎(さ)は昨日午後七時頃平町搔搔小路鈴木屋旅館の浴場にて投宿客山形市呉服商安達谷治が入浴中脱衣場にて同人所有銀

七百六十一圓卅四錢であるから昨年の優勝旗は前期中の作の加澤氏に授與され

等でこれが授與式は恒例により舊正月十五日頃の船止めを利用して同町漁業組合事務所において行はれる豫定である

子鉄倉神社

神体を奉遷

本月上旬に

平町字揚土に鎮座する縣社子鉄倉神社は總工費十萬圓を投じて東北自慢の社殿改營中であつたが此程漸く結構壯麗に出来上つたので境内八坂神社に遷座してある神體を本月上旬中木の香新しい新殿に奉遷の筈であるが遷宮式は来る五月の例祭に於て盛大に執行すると

神樂の祝儀を

學校へ寄附

山田の青年團

石城郡山田村青年團井上分團では過般舉行された同小學校新築落成祝賀會に於て奉仕的に同地名物の神樂を爲して興を添へたが其の際貰つた祝儀の中金十圓を學校備品費として寄附した

側腕時計を窃取し平署柴崎半澤の兩刑事に捕る

キジ山鳥が

稀しく豊獵

八百屋にも

ブラさがる

濱通りはキジ山鳥が何十年來にない豊獵で一番が僅かに二圓四五錢といふ馬鹿相場をしてゐるが不景氣で賣れ行きが悪く近頃では八百屋の店先にまでぶら下つてすつかり値打ちを下してしまつた

金時計を

その儘猫糞

それが發覺して

石城郡内郷村大字御厩字上宿居住相馬郡磯部村大字磯部字北谷地生れ日雇業海老原ミノ(さ)は舊臘廿七日午後四時頃平署にて金側時計一ヶを拾得横領せる事發覺平署半澤刑事及び高橋巡查に逮捕さる

天井一ツを

平げた泥的

前科は九犯

山形縣西村山郡寒河原町宇山岸生れ住所不定無職窃盜詐欺前科九犯卯月禮太郎(さ)は去る廿九日午前九時頃田村郡小野新町の某家から寝巻一枚を窃取したる外昨

募集

文藝其他投稿を募集します

日午前九時頃石城郡赤井村氏名不明の留守宅に忍入り小刀其他を窃取した足で午後十時頃平町町飲食店大谷菊次郎方にて天井二ヶを食逃げし平署取締小林巡查に檢舉され餘罪ある見込にて取調中

明日の天気 北西の風 幾分強く 晴れ

四丁目聯合景品附大賣出し

期間 舊十二月廿一日(二月廿一日)より 八日間 舊十二月二十八日(二月廿七日)まで

和泉屋旅館

時間 午前九時より 午後五時まで

景品 桐箆筒、反物類其他山ノ如シ

感冒大流行

原市醫師の豫談

厳しい寒さで天気が乾燥し、空気が乾燥し、鼻や咽頭の病氣は之からいよいよ多くなる事と思はれます。急性鼻加答兒、急性咽頭或いは喉頭加答兒と稱するもので一般に感冒と唱へられて居るものが之であります。之等の場合には其初期症状として局部粘膜の乾燥感や、いらいらする感を生ずるので鼻加答兒の場合には特徴としてくしゃみやみを連發し漸次水鼻汁の分泌を増じつひに鼻粘膜の腫脹を來し鼻

腔の閉塞を起すに至るのであります

急性咽頭炎に際しては飲下運動に際して増激する局部の疼痛を特徴とし、まず一般に扁桃腺炎と稱せらるるものが之であります。喉頭の急性炎に際しては音聲の急性な事を特長とします。以上いろいろの現象に發熱は殆んど必發の現象と云うて差支へ無の差があるもので鼻加答兒の場合には比較的軽く扁桃腺炎の場合には甚だ高いのを一般とします。尤も之等は合併する場合は相前後して同時起るものが多いから實際の場合には之等の諸症状が同時に起ると考へて差支へ無いのです

之等諸症状は發病後早くは

四五日位遅くも一週位、漸次トリ坂に向ひ一週乃至二週後には全快するを一般と致します。鼻加答兒の場合には發病四五日後には分泌物が濃厚となり終には黄色の膿汁と變つて之から漸次治癒に向ふのを一般とするが時に副鼻腔の蓄膿症を繼發する事があるます

次に罹病動機としては

一、寒冷殊に身體の一部を知らず、の間に冷却したる場合

二、空気の乾燥と塵あいの吸入

三、温熱、悪ガス其他器械的作用に因る粘膜の損傷

四、病菌の傳染(せき、く

さめ其他に因る傳染)等を擧げる事が出来、す。即ち素因を有する人が塵あいの多い場所に居るとか、或はうたゝ寝をして身體の一部を冷却するとかすれば必然的に感冒を發するのであります

以上の原因論から吾々は其豫防法を察知することが出来るのであります。即ち先天的虚弱な體質の者は平素の攝生を怠らず即ち規則的生活、適當の運動、夏季の海水浴、冷水摩擦等に依つて出来るだけ自己を強健ならしめねばならないのであります。更に一方如何に健康なる體質の所有者にして、常に後天的素因の發生に注意せねばならぬ事は勿論であります

塵埃の多い場所を働いた直後に嗽水か食鹽水で鼻を洗ひ、鼻を清潔にする事も極めて合理的な豫防法と云へます。さうして感冒に罹つたら如何するかと云ふに其場合々々で多少の相違はあるにしても安んずる必要は共に通と云ふても差支へありません。殊に高熱を發した場合に絶對安静を要します。素人にはアスピリンを服んで居る人がある様だがアスピリン等の熱劑は多くの場合単に一時の解熱作用を有するのみで治療の根本には何等もなして居らぬ許りでなく熱型の不安を生じ醫師の診断に錯誤を來す虞があるから無意味に之を用ふる事は考へ物と思ひます(市原病院長市原卯太郎氏談)